



まるやま

新潟市立丸山小学校

学校だより 8号

令和6年9月26日

みんなかがやく

自分力：みがこう！じぶん 関係力：ふかめよう！つながり 創造力：つくろう！あした

人のために役立つこと ～利他的行動がチームパフォーマンスを高める～

校長 福原 清訓

昨日（9月25日（水））、全校ボランティア活動を実施しました（次頁に活動の様子を掲載しました）。JRC（青少年赤十字）の登録校である当校では、「気づき、考え、実行する」という精神のもと、「人のために役立つ」という奉仕行動として、全校ボランティア活動を数年にわたって実施してきました。昨年度は校内での活動に止まっていたが、今年度は「地域のために」「地域とつながる」こともねらいにして、学校の外へも活動を拡げました。保護者や地域の方にも参加していただき、子どもたちと一緒に活動していただきました。参加してくださった皆様、ありがとうございました。今後も保護者や地域の皆様と子どもたちが一緒に活動していくことで、「地域のために」「地域とつながる」意識が一層高まり、広がっていけばと考えています。

ところで、このボランティア活動というのは、利他的行動であり、自己よりも他人のことを考えて行動するところが根幹にあります。利他的行動としては、他にも「寄付」や「席・順番を譲る」などの行為もあげられます。この行動は、人以外の動物でも見られますが、他者に見返りなく行動を行えるのは人だけだそうです。しかし、中には利他的行動は自分にメリットがないと感じて、利己的行動を優先してしまう人もいます。利己的行動を優先する人は、自身の利益を優先するあまり、他人を羨ましく思ったり、時に憎んでしまったりするようになります。そして、利己的行動を繰り返すと、周囲の人は遠ざかり、孤独を強く感じるようになります。特に、困窮した状況では、手を差し伸べてくれる人がいないので、精神的に大きなダメージを受けることになります。一方、利他的行動をとる人は、同じ志を持つ人や近いコミュニティの人との良好な関係を構築しやすいです。そのため、困難な場面に陥っても周囲から救いの手を差し伸べてもらえるので、困難を乗り越えやすく、結果的に幸福感を感じやすくなるのです。

ニューヨーク大学スターン経営大学院の研究（Stevens et al.2018）では、アイスホッケーリーグ（NHL）において、利他主義者の多さが、戦績に影響を及ぼすことが説明されています。この研究では、選手を「タフ」「技巧派」「利他主義者」に分け、得点に対して主成分分析を行いました。この結果、「利他主義者」を多く含むチームで、得点や目標の達成率が高いことが浮き彫りになりました。同時に、得点に繋がるプレーの多い利他主義の選手は、他選手と比べて年棒も高い傾向にあることも示唆されました。利他主義者の多さがチームに良い結果をもたらす傾向は、他のチームスポーツでも同様と考えられます。つまり、チームスポーツでは、チーム全体を俯瞰して気にかけてあげられる選手が多いほど、よいチームパフォーマンスが生まれ、よい成績が得られるようになるわけです。

学校でも似たことが言えるのではないのでしょうか。利他的な奉仕の心がある子どもたちが多ければ、日々の学びや生活での様々なパフォーマンスが高くなることが考えられます。他者のことを考え、人のために役立つ心をもつ子どもたちは、良好な関係の仲間と価値ある集団をつくり、仲間と共に幸せになっていけるでしょう。当校では、進んでボランティア活動を行う子どもたちがたくさん育っています。この快く奉仕活動ができる子どもたちの姿をこれからも大切にしていきたいです。

✨きらきらスナップ✨



佐渡修学旅行（6年生）9/5・6
歴史や文化や自然を感じて、佐渡を満喫してきました。



稲刈り（5年生）9/11
地域の方にサポートしてもらいながら、協力して稲刈りをしました。



若竹集会（保健委員会）9/18
博士がクイズを出し、熱中症の予防について考えました。



かまぼこ工場見学（3年生）9/20
かまぼこをつくる工程や働く人の仕事を見学してきました。



全校ボランティア活動 9/25
校舎から出て、グラウンドや地域をきれいにする活動を行いました。



＜職員異動のお知らせ＞

3年1組担任として活動を進めてきた小泉 博資（こいずみ ひろし）先生が、前期（10月11日（金））をもって転出することになりました。

後期（10月15日（火））からは、3年1組担任として亀田東小学校より長谷川 薫（はせがわ かおる）先生が着任し、学習活動を進めていきます。

短期間での担任交替で、子どもたちや保護者の皆様にご心配をおかけしますが、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。